

# ホテル西川口ウィークリー

## 利用規約

当ホテルでは、お客様に安全かつ快適にご滞在いただくため、宿泊約款第5条に基づき、次の通り利用規則（以下「本規則」といいます。）を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。本規則をお守りいただけない場合は、当ホテル内諸施設のご利用をお断り申し上げます。また、お守りいただけなかった結果により生じた事故については、責任をお取りいただく場合があります。ご留意くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 利用範囲

本規則は、当ホテルの全施設（客室、ロビー、通路、駐車場、駐輪場、コインランドリー、その他の共有スペース等の全てを含みます。以下総称して「当ホテル内諸施設」といいます）をご利用される全ての来館者に適用されます。なお、当ホテルにご宿泊のお客様（以下「宿泊客」）には本規則のほか、当ホテルが定める宿泊約款も適用されます。

## 2. 貴重品・お預かりの取扱について

(1) 宿泊客がホテル内施設等にて、ホテル従業員にお預けになった物品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、現金または貴重品については、お預かりいたしません。

(2) 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品であって、ホテル内施設にて従業員にお預けにならなかったものについては、当ホテルの故意または重過失により滅失、毀損等の損害が生じた場合のみ、20万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

## 3. お支払いについて

(1) チェックイン時に宿泊代金全額のお支払いを申し受けます。

(2) 予定の宿泊日数を変更する場合はフロントにご連絡ください。

(3) 宿泊日数変更により、ご利用プランを変更した場合、料金に変更される場合がございます。

(4) ウィークリー割引プラン・マンスリー割引プラン・連泊割引プランをご利用され、チェックイン後に日程短縮された場合の返金は一切いたしません。

(5) チェックイン後に宿泊を延長する場合は、延長日の2日前～前日23時までに全額を前金でお支払いください。

(6) 宿泊延長はチェックアウト 2 日前～前日の 23 時までにお申し出、またはネット予約を完了し宿泊代金全額のお支払いを完了して下さい。チェックアウト当日の延長はお受けできませんのでご注意ください。

#### 4. 館内での禁止行為

(1) 当ホテル内諸施設に他のお客様の迷惑になるようなものをお持ち込みにならないでください。

- A) 犬・猫・小鳥等の動物、ペット類全般（ただし、補助犬は除く）
- B) 発火または引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある製品
- C) 悪臭および強い臭いを発する物
- D) 法により禁じられている銃砲、刀剣類、麻薬などの薬物、およびその他法令で所持を禁じられている物
- E) 常識的な量を超えるお荷物および物品
- F) 客室内での備え付け備品・家具の移動および配置変更
- G) 客室間での備え付け備品・家具の移動

(2) ホテル内で賭博や風紀、治安を乱すような行為、他のお客様に迷惑となったり不快感を与えたりするような行為はおやめください。

(3) 当ホテルの許可なく、営業などの宿泊以外の目的に当ホテル内諸施設をご使用なさないでください。

(4) 当ホテル内諸施設で許可なく広告、宣伝物を配布したり、物品を販売したりしないでください。

(5) 当ホテル内諸施設で撮影された写真やビデオ等を、SNSを含め、許可なく営業上の目的で公にすることはおやめください。法的措置の対象になることがあります。

(6) 緊急事態あるいはやむを得ない事情が発生しない限り、非常階段等、お客様用以外の施設には立ち入らないでください。

(7) 未成年者だけのご宿泊は、保護者の許可がない限りお断りいたします。

(8) 小学生、中学生は保護者同伴が無い限り宿泊をお断りいたします。

(9) ベランダに荷物を置く、ベランダに物を陳列するなどの外観を損なうような行為はおやめください。

(10) ナイトウェア、スリッパ、下着等で、廊下、ロビー、等客室外に出歩くことはご遠慮ください。

## 5. 反社会的勢力等の施設利用の禁止に関すること

次に掲げる団体および個人については、当ホテル内諸施設のご利用をお断りいたします。

また、当ホテルにおいて予約が成立した後、あるいはご利用中といえども、そ

の事実が判明した場合には、その時点以降、一切のご利用をお断りいたします。

(1) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)暴力団準構成員又は暴力団関係者その他反社会勢力。

(2) 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他団体であるとき。

(3) 法人で、その役員の中に暴力団員に該当する者があるもの。

(4) 暴行、傷害、脅迫、恐喝、威圧的不当要求およびこれに類する行為が認められるとき。

## 6. 喫煙に関する規定【電子タバコを含む】

(1) 客室・ベランダを含め全館禁煙です。喫煙はコインランドリー横の喫煙ボックスをご利用ください。

(2) 客室において喫煙が確認された場合は、客室を禁煙状況に修復するための客室クリーニング代(2万円~10万円)を申し受けます。

(3) 客室クリーニング期間に伴い販売機会損失が伴う場合は、その損害を賠償していただきます。

(4) ホテルが定めた喫煙場所以外での喫煙によるホテルへの損害が確認された場合は、その損害を賠償していただきます。

## 7. その他注意事項

(1) 不可抗力以外の事由により建造物・家具・備品・その他の物品を損傷・汚染または紛失された場合には、相当額を弁償していただくことがあります。

## 8. Wi-Fi 接続サービスご利用時の注意事項について

(1) サービスご利用により、万一、ウィルス感染、情報消失、その他の損害が発生した場合、当ホテルでは一切の責任を負いかねます。

(2) お客様の通信端末環境や回線の混雑状況により、通信速度の低下や繋がらない場合もございますので、予めご了承ください。

(3) ご使用になるパソコンおよび、通信端末環境や各種設定に関して当ホテルでは一切のサポートはいたしかねます。

## 9. 来訪者について

(1) お客様の安全確保の為、宿泊者以外の立ち入りはご遠慮下さい。

(2) 何らかの理由でフロントが認めた場合は以下の事項を厳守して下さい。

A) フロントへお申し出の上、入室者ご本人様の署名・入退室時間の記録をお願いいたします。

B) 来訪者の滞在時間は 30 分までとします。

C) 40分を超えた場合は1名様追加料金¥3,000お支払い頂きます。

D) フロント営業時間外(夜12:00~翌朝5:30)のご来訪はご遠慮下さい。

## 10. 清掃について

(1) 連泊中の客室清掃は、ご利用頂く宿泊プランにより異なります。チェックイン時にスタッフより案内文を渡して説明をいたしますので、ご不明な点はその際にご確認ください。

## 11. 当ホテルの宿泊解除権

当ホテルは次にあげる場合において宿泊契約を介助する場合がございます。

- (1) 宿泊者が宿泊に関し法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。または同行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が宿泊施設もしくは宿泊施設従業員に対し暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行ったとき。またそのおそれがあるとき。
- (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (5) 宿泊客が他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす恐れがあると認められるとき。または同行為をしたと認められるとき。

- (6) 宿泊者が宿泊した客室の近隣の宿泊客から騒音等の申し出があったとき。
- (7) 該当施設の所在する都道府県条例に規定する宿泊拒否の事由に該当するとき。

## 12. 宿泊の登録

宿泊客はチェックインの際、フロントにおいて次の事項を登録して頂きます。

- (1) 氏名、住所、携帯番号または電話番号、年齢、性別。
- (2) 外国人にあっては国籍の記入及びパスポートのコピーを取ります。
- (3) チェックイン日、チェックアウト日。
- (4) インターネット予約以外のすべてのお客様は身分証（顔写真入り）を提示頂き、コピーを取ります。
- (5) 「未成年者の宿泊に関する同意書」 ※宿泊しようとする者が未成年者（18歳未満）の場合
- (6) その他、当ホテルが必要と認める事項。

## 13. 宿泊者の手荷物、携帯品、忘れ物の保管

- (1) 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着時に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフ

フロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

- (2) 宿泊客がチェックアウトした後、宿泊客の手荷物または携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合その所有者が判明したときは、当ホテルは当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし所有者の指示がない場合または所有者が判明しないときは、7日間保管し、その後は遺失物法に基づき処理します。

#### 14. ルームキーについて

- (1) チェックイン時にお渡しするルームキーは、チェックアウトまでお客様自身で大切に保管・管理をお願いいたします。
- (2) 外出時にルームキーをフロントにお預けいただく必要はありませんがご希望の場合はお預かりも可能です。
- (3) ルームキーはチェックインからチェックアウトまで有効です。ご宿泊延長される際は、フロントにてルームキーの更新手続きが必要です。
- (4) 客室ドアはオートロック式です。お部屋を出られる際は、必ずルームキーをお持ちください。
- (5) エレベーターのご利用にはルームキーが必要です。

(6) ルームキーを紛失または破損された場合は、再発行手数料として5,000円(税込)を申し受けます。

(7) 紛失されたルームキーが滞在中に見つかった場合は、フロントまでご連絡ください。元のキーが使用可能な状態であれば、再発行手数料5,000円を返金いたします。ただし、破損などにより使用不可能な場合は返金いたしかねます。

(8) チェックアウト後に紛失されたルームキーが見つかっていても、返金はいたしかねます。お手数ですが、お客様ご自身で破棄をお願いいたします。

2026年4月27日改定